

## 富士北稜高校:親子カルチャー教室



7月26日(土)に富士北稜高校(山田泰男校長)で「親子カルチャー教室」が開催されました。今年で第6回を数え、夏休みの親子のイベントとして定着した感があります。今年には①コンピュータで名刺・カレンダーづくり②デジタル時計の製作③家の模型づくりの3コースが行われ、募集組数を超える親子が集まりました。開講式でミニ先生の認定証が渡された高校生が、講師の先生と共に各コースで児童の指導にあたりました。児童も気軽にミニ先生に質問しながら、ものづくりに励んでいました。①コースでは、カラフルなオリジナルの名刺・カレンダーが完成しました。②コースでは、手慣れた様子ではんだ付けを手伝うお父さんの姿が印象的でした。③コースでは、カッターナイフを上手に扱い見事な家の模型を完成させていました。最後に、児童に修了証が渡され、親子の満足した姿がそこにありました。



## 帝京科学大学:夏休み親子科学教室



7月27日(日)に帝京科学大学(沖永荘八学長)で「夏休み親子科学教室」が行われました。今年、A「小さな科学者養成講座」、B「動物を知ろう」、C「自然体験(朝・昼・夜)」に親子156名が参加しました。Aコースでは、レゴを使ってコチコチ時計を組み立てて振り子の仕組みを、フリーホイールを組み立てて車の重さ・タイヤの大きさの効果を学びました。Bコースでは、は虫類や小動物に直接触れたり、工夫をこらした学生のブースで動物の不思議な世界を学ぶことができました。Cコースは、朝・昼・夜コースに分かれ、大学周辺、鶴川沿い、大野貯水池等で、昆虫や水生生物を捕まえたり調べたり、運良くセミの羽化を観察できたりし、自然との触れ合いから新しい発見がたくさんありました。当日夕立があり、夜コースは8月3日(日)に延期して実施されました。それぞれの講座で学生スタッフが児童にマンツーマンで指導にあたってくれていました。親子がふれあい、科学の不思議を体験し、収穫の多い一日でした。



## 谷村工業高校:親子ものづくり教室



8月23日(土)に谷村工業高校(数野均校長)で「親子ものづくり教室」が開催されました。夏休み最後の土曜日。厚い雲が太陽をさえぎり、やや寒い一日でしたが、会場は子どもたちの熱気でいっぱいでした。今年、5つのテーマ①親子グラス②フラワーアレンジメント③ホバークラフト④プランター⑤電子回路搭載スーパーカーの製作に、24組(48名)の親子が参加しました。今年初めてのテーマ①親子グラスには8組の応募があり、サンドブラスト手法で作られたオリジナルデザインがグラスに映し出され、とてもオシャレな仕上がりになりました。他のコースでも、ミニ先生(高校生)が指導にあたり、なごやかな雰囲気の中、児童も気軽にミニ先生に質問しながら、ものづくりに励んでいました。色とりどりに飾られたフラワースタンドが仕上がった瞬間、プランターをプロ顔負けに焼き付けている瞬間、ホバークラフトが浮き上がった瞬間、スーパーカーが動いた瞬間の児童の表情がとても印象的でした。子供たちは修了証と製作した作品を手を、胸を張って高校をあとにしました。



## 花の里・北都留 一人一花運動 フォトライブラリー展 作品募集!



明日の風では、4月当初北都留地区の各校に花の種を配布し、学校や地域を美しくするキャンペーンを行い、その成果をフォトライブラリー(11月5日~12月19日:北都留教育会館)で紹介します。応募は、10月30日 までですが、さっそく日大明誠高校(大山矩行校長)から美しい便りが届きました。応募をお待ちしています。

## 富士河口湖高校：親子科学教室



8月2日(土)に富士河口湖高校(渡邊芳信校長)で親子科学教室が行われました。今年度から始められた事業で、吉田・河口・忍野地区の35組の親子が参加しました。9名の自然科学部員と15名のボランティア協力委員、5名の教職員が化学実験室の7カ所のブースと化学講義室の5コーナーに分かれて、子どもたちに科学の不思議な体験を紹介しました。スライムや人工イクラづくりを手始めに、木炭電池や指ハブづくりに熱心に取り組んでいました。科学教室の中でデモ実験も行われ、ガス爆発実験・粉糖爆発に参加者は驚きを隠せない様子でした。中には、各実験のレポートをまとめている熱心な児童もいました。児童に面白かったブースを尋ねてみると、“全部面白かった”と言う答えが返ってきました。参加した親子共々、科学の不思議を十分体験した一日でした。



## 特別支援連携協議会研修会・講演会が富士北麓・東部両地区で開催

8月21日(木)にやまびこ支援学校(田村悟校長)で東部地区特別支援連携協議会研修会が行われました。「自閉症児の学習と成長の過程を振り返る」と題し、担当教諭・保護者・主治医の三者の立場から見た事例研究と意見発表がなされました。ホールにはやまびこ支援学校の保護者をはじめ、東部地区の小中学校教諭・協議会構成団体代表150名余りが出席しました。事例報告から、こどもが自ら成長しようとする力と三者(教諭・親・医者)の協力によって人は成長することが伝わってきました。最後に、日本肢体不自由教育研究会理事の林友三氏から「特別支援教育の諸課題とその解決法をさぐる」と題して、講演が行われました。平成19年度から特別支援教育の転換が図られ、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援をおこなうためには、専門性の向上・授業の改善・交流学习の推進・保護者の協力が今後の取組に必要なとの示唆をいただきました。たいへん、有意義な研修会でした。

8月25日(月)ふじざくら支援学校(萩原広子校長)で富士北麓地区特別支援連携協議会講演会が行われました。山梨赤十字病院小児科医師の畑園子先生より、「発達障害のある子どもの理解と支援～医療との連携の在り方を考える～」と題して講演をいただきました。発達障害の概略、前頭葉の機能、発達障害の各論についての専門的内容が分かりやすく説明され、支援について“保護者・教師・医師が子どもに何ができるか”を考えるよう示唆がありました。講演の後、参加者から活発な質疑応答がありました。

### 南都留地域教育フォーラムに参加を！ ～地域連携・地域交流を深めるために～

期日： H20年10月31日(金) 13:00 受付

場所： 富士吉田市立下吉田第二小学校

アトラクション：「光っ子コンサート」都留文科大学合唱団

一分科会テーマー

- |                              |                                |
|------------------------------|--------------------------------|
| ① 幼保小齢「幼保小の接続～接続の接点～」        | ② 小中齢「子どもの心を見ずえて、育ちを考える」       |
| ③ 中高齢「内から見た中高連携・外から見た中高連携」   | ④ 小中高児童生徒齢「高校生の見た地域の発見」        |
| ⑤ 行政・地域団体・学校齢「地域の子どもは地域で育てる」 | ⑥ 特別支援教育齢「特別支援教育の今」            |
| ⑦ PTA齢「子どもを守り育てるPTA活動」       | * 詳細については、地域支援担当まで お問い合わせください。 |

### 「明日の風」掲示板 (北都留)

- ☆ 第4回アスリート実技講習会(記録会)  
期日：9月27日(土)8:30～15:00  
場所：大月市営陸上競技場
- ☆ 第5回アスリート実技講習会  
期日：10月4日(土)9:00～12:00  
場所：大月市営陸上競技場
- ☆ 伊藤知治教士八段剣道教室  
期日：11月22日(土)12:30～16:30  
場所：猿橋小学校 体育館

### 「富士の光」掲示板 (南都留)

- ☆ 青い麦の子大会  
期日：10月8日(水)9:30～14:30  
場所：富士スバルランド森林公園ドギーパーク
- ☆ コミュニティーカレッジ講座  
地域に根ざす大学の役割  
① 家庭教育にいかすカウンセリング ② お酒と心の健康  
③ 本当はこわい糖尿病合併症 ④ 発達障害の作業療法  
期日：10月25日(土)13:00～16:10  
主催：健康科学大学

――本掲示板についての問い合わせ先――

富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ

TEL 0554-45-7841 FAX 0554-45-7823